

寺井彩菜 著

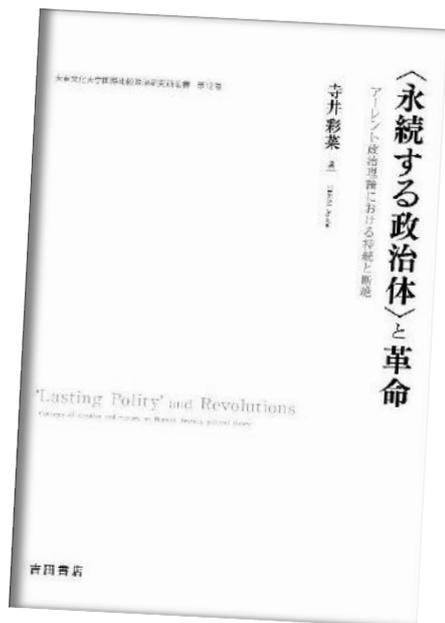
〈永続する政治体〉と革命

—アーレント政治理論における持続と断絶—

アーレントの政治理論において、革命論はどのように位置付けられるのか…。

『革命について』や『人間の条件』など、アーレントの著作を丹念に読み込みながら考察する意欲作。

【3月中旬刊行】



四六判上製 二七二頁 本体価格3800円
ISBN: 978-4-910590-26-4 C3031

はじめに アーレント研究における革命論に対する関心

第一部 革命論が取り組んでいる課題について

- 第一章 「始まり」の政治理論家、ハンナ・アーレント
- 第二章 アメリカ革命の「失敗」と『革命について』の課題

第二部 政治体を持続させる仕組みについて

- 第三章 「制作」の活動と芸術作品が示す世界性
- 第四章 アメリカ革命における実践
- 第五章 アーレント政治理論における「不死」の問題と「思考」の活動

おわりに アーレント革命論がもたらす展望
——政治的課題としての持続性

寺井彩菜（てらい・あやな）

1988年生。2022年、慶應義塾大学大学院法学研究科後期博士課程単位取得退学。博士（法学）。現在、大東文化大学法学部政治学科助教。主要論文に『『革命』という持続と断絶——『始まり』の後のハンナ・アーレント』（『政治思想研究』第17号、2017年）、共訳書に、マイケル・ウォルツァー『聖徒の革命——急進的政治の起源』（監訳：萩原能久、風行社、2022年）などがある。

吉田書店 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-9-6 東西館ビル本館 32 TEL03-6272-9172

ご注文は株式会社JRCへ TEL03-5283-2230 FAX: 03-3294-2177

書店印	ご注文	吉田書店発行	寺井彩菜 著	本体 3,800 円+ 税
	冊		〈永続する政治体〉革命 —アーレント政治理論における持続と断絶— ISBN: 978-4-910590-26-4	